

令和 3 年 3 月

第 42 号

自治連だより

(自治連 HP : www.yachiyo-jichiren.org/)

加入自治会数 234 自治会
加入世帯数 51,522 世帯
(令和 2 年 12 月末日現在)
発行元 八千代市自治会連合会
代表者 栗根秀光
編集 八千代市自治会連合会
編集委員会



栗根会長あいさつ

八千代市自治会連合会 会長 栗根 秀光

自治会連合会の会員の皆様には、平素から自治会活動および連合会や地域の様々な活動に対し、ご理解とご協力を頂きまして誠にありがとうございます。

今年度の市内 7 地区の市政懇談会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、残念ながら中止とさせて頂きました。また、自治会連合会役員による市政懇談会も中止にしましたが、その代わりに行政に対し書面による要望書を提出し、行政側から書面回答を得る方法を取りました。そして、その回答につきましては今回の「第 42 号自治連だより」に掲載いたしました。

「八千代市第 5 次総合計画」が策定され、いよいよ来年度より基本計画に定められた施策の実現に向けてスタートすることになりました。自治会連合会および各自治会が、その総合計画にどのように関わっていくかの方向性や課題について検討して参りたいと考えております。

今年度は、新型コロナウイルスの影響により自治会活動が制限されました。さらに第 3 波と思われる感染症拡大で、2 度目の緊急事態宣言が発令され、2 度の期間延長もなされる事態となりました。八千代市も感染者が急激に増加している事態になっております。不要不急の外出自粛により自治会活動等の活動制限を余儀なくされる状況に苦慮しているところです。ワクチン接種が本年 4 月から 65 歳以上の高齢者に開始され、その後、一般の国民へも順次開始される見通しが示されていることに期待し、早くコロナが収束して元の生活に戻ることを願っております。

今後とも自治会連合会の活動に、ご支援ご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

市民の安全を守る ネットワーク協定

市民の安全・安心確保のために、昨年 1 月、自治会連合会、八千代署、八千代市の三者による「八千代市地域の安全・安心に関する協定」が締結された件は、同年 3 月号の「自治連だより」でお知らせしましたが、締結後、コロナ禍により、三者による話し合いは「詐欺防止」のチ

中止状態が続いております。

協定書では、少なくとも年 1 回は、連絡協議等を開催することになっておりますので、自治連では、今年度は、何とか会議の場を設けたいと思っております。

一方、三者会議とは別に、自治連としては各自自治会や防犯連の協力を得て、電話やハガキによる「詐欺防止」のチ

シや、広報「ちばけん防犯」の PR 資料等を会員世帯に配布して、防犯活動に協力しております。

参考までに、八千代署管内で昨年発生した事件、事故状況(11 月末現在)を掲載しました(カッコ内は対前年比)。

* 事件発生件数
929 件(350 件減)。
内訳は、①殺人強盗等凶悪犯 7 件増。

(2 件減)、②暴行、傷害等粗暴犯 51 件(9 件減)、③空き巣、忍び込み等窃盗犯 269 件(84 件減)、④詐欺等知能犯 54 件(1 件減)、⑤賭博、わいせつ等風俗犯 9 件(6 件減)、⑥住居侵入等その他刑法犯 116 件(39 件減)。

* 交通事故 331 件(185 件減)。うち死亡事故 4 件(3 件増)。

内訳は、①殺人強盗等凶悪犯 7 件増。

令和 3 年度自治会連合会 総会

自治会連合会では、令和 3 年度の 5 月総会開催に向けて準備を進めておりますが、コロナ禍の状況次第では、昨年同様、中止という事態も想定されます。3 月末か 4 月に入らないと、何とも判断が出来ませんが、出来るだけ早めに役員会で結論を出して各自自治会長にご連絡致します。

総会参加者は、例年 100 人余りです。開催となると、感染防止対策上、密閉、密集、密接のいわゆる「三密」対策が必要です。座席の配置も 1m 以上の間隔が要求されますので、通常 300 人以上収容の通気性のある会場確保が不可欠です。市役所には、そのような会場はありません。市民会館は、3 か月前の予約申し込みです。4 月直前の方針決定では間に合いません。また、開催の場合、マスク着用は当然として、入場の際の手の消毒、体温、体調の記録等も要求されるほか、開催前後の座席、机、扉などの消毒も欠かせません。

こうした状況から、コロナ収束が当分望まれない状況を見越して、早く中止方針を決定し、昨年同様の在宅での書面審議方式で臨むのが現実的だとの意見が多く、役員会では総合的に判断して妥当な結論を出す方針です。開催中止か、いずれの場合でも、どうか自治会長各位には、ご理解とご協力をお願い致します。

なお、在宅での書面審議の場合は、昨年通り 5 月上旬までに総会の資料(書面)を郵送し、往復はがきで賛否のご連絡を頂くこととなります。例年と同じような議案となります。

未加入自治会に 加入呼びかけ

自治会連合会は、未加入自治会に対し、「住みよい街づくりのために共に手をとり合って活動しましょう」と、自治連

への加入を呼び掛けております。

自治会を組織した未加入団体は、市内全体で 16 自治会、1050 世帯に及びます。

これら未加入自治会には、個別事情もあるようですが、自治連では、単独で活動するよりも、皆で力を合わせた方が自治会活動の成果が高まるという立場から、未加入自治会に対し、「共に手を取り合いましょ」と、加入を呼びかけている次第です。

なお、12 月末の八千代市の世帯数は、91,994 世帯。このうち、自治連加入の自治会は、234 団体、51,522 世帯。世帯数から見た自治連の組織率は、56%。これ

今後は、自治会と自治連、それに八千代市との間の共通インフラになれるように認知度を高めてまいります。

自治連 HP の近況

八千代市自治会連合会のホームページを立ち上げてから約 1 年半が経過しました。HP の主な作業は自治連だよりや総会資料の定期的な更新となります。

HP で最も利用されているのが市内全部の自治会、町内会の場所や近くの緊急避難場所を地図に落とし込んだ八千代市自治会マップ(2 月 8 日現在の表示回数 6,679 回)です。



とけない、情熱。
ロックアイス



小久保製氷冷蔵株式会社

本社 千葉県八千代市村上 1739-4 ☎047(484)1169(代表)

ロックアイスは小久保製氷冷蔵(株)の登録商標です。

市政懇談会

へはじめにVすでに、お知らせしたとおり、昨年に実施予定の市政懇談会は、コロナ禍の影響により全面中止になりました。本来なら、毎回3月発行の「自治連だより」では、この市政懇談会における自治会連合会及び、その母体である市内7地区と服部市長ら市幹部との間で意見交換された内容、特に地区の要望や質問に対する市側の回答を中心にお知らせすることになっておりますが、今回の3月号では、それが不可能となりました。

そこで自治連役員会では、市政懇談会の趣旨を何とかこの3月号に反映させようと、市側に対して文書形式の要望、質問を提出しました。その中身は、7地区共通テーマとして次の5項目を選びました。①八千代市第5次総合計画、②コンパクトカー、③子供たちの登下校時の安全対策、④行政と住民の意見交換の在り方、⑤街路樹の除草、清掃。

以上の各質問、要望に対して、市側から文書で回答がありましたので、その要点及び取材した内容を3月号に掲載しました。中でも新年度から実施される第5次総合計画は、今後の自治会活動の参考に資する内容が含まれていると思います。

質問1 八千代市第5次総合計画の概要について

回答 総合計画は、計画が終了し、第5本市のまちづくりを次総合計画が新年度総合的・計画的に進め、計画期間は8年間(基本指針として実施計画期間は前期・後期体系化した市の最上位の計画です。令和2年度で第4次総合「基本構想」「基本計

画」「実施計画」の3層で構成され、「基本構想」では、八千代市の将来都市像を「人がつながり、未来

笑顔あふれるまちやちよ」と定め、未来都市像を実現させるために「ともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり」、「豊かな心と文化を育むまちづくり」、「安心・安全に暮らせるまちづくり」、「快適で環境にやさしいまちづくり」、「産業が元気なまちづくり」といった5本柱を設定し、各柱の目指すまちの方策を具現化させる施策を実施します。

そのため、柱の体系に沿った施策の大概を以下のように整理しました。

各柱別に*第1章 子ども・子育て、地域福祉、社会保険、健康、*第2章 教育、生涯学習、文化、スポーツ、*第3章暮らしの安心、暮ら

道、*第4章 市街地・住環境の整備、総合交通・道路環境の整備、環境との共生・保全、資源循環型社会、*第5章

農業、商工業、労働環境で構成されております。

なお、基本計画及び実施計画は、具体的な内容を整理したうえで、令和2年度末までに策定する予定です。

〔企画部・企画経営課〕

〔注〕以上の市側の回答に関連して、以下では、第5次総合計画の中で自治会活動に最も関係のある「地域別計画」を取りあげ、自治連の「7地区」別に掲載しました。

これは、市が前期計画案の策定にあたり、パブリックコメント用に市民に開示した内容を自治連・編集委員会が抜粋、要約したものです。

なお、文中に「地区」と「地域」の用語が併用され、紛らわしい感じですが、例えば、見出し相当の「大和地区」とあるのは、自治連の組織名称です。それ以外は、市の行政区分通り「地域」としてあります。

〔大和地区〕

同地域は、国道296号沿いの市街地と八千代中央駅を中心に開発された市街

地が共存。市役所、福祉センター、市民会館、生涯学習プラザのほか自然環境に恵まれた新川流域には、八千代総合運動公園、県立八千代広域公園があり、文化、スポーツ、レクリエーションの中心地です。

また、北部には、工業団地が造成され、多彩な機能を有した都市的なエリアです。人口は49,846人、21,003世帯で横ばいの見込みですが、年少人口と生産年齢人口の割合が高く、活気に満ちています。

行政の課題と対応は、次のような点です。①区画整理事業が未着手の大和田駅北側地区への対応。特に、高低差のある地形や狭い道路対策が当面の課題。これについては、地域住民の意見を聞きながら事業手法などを検討。②八千代総合運動公園や県立八千代広域公園など、新川周辺の水辺空間における環境整備の推進。特に、文化とスポーツ・レクリエーションの中心地としての役割を担う地域として「人・文化・自然」

がふれあう地域づくりに取り組む。③地域の主要な生活道路は、人の安全を重視した整備を念頭に置いて、交通の利便向上に向けて検討する。

〔高津・緑が丘地区〕

同地域は、一部に農地等の緑地空間が残っているが、東葉高速線八千代緑が丘駅を中心に市街化が進み、人口は、49,304人。21,277世帯で市内では唯一の大幅な人口増加が見込まれる地域。それも、年少人口と生産年齢人口の割合が高いため、今後とも人口増が見込まれた活力のあるエリアです。

行政の課題と対応は、次のような内容です。①人口急増対策。新たな行政ニーズに対応した住民サービスの提供などが、喫緊に取り組む課題。

②地域内に残る貴重な緑地などを活用した公園づくりを通して、人が集まる賑わいのある地域づくりを推進。③交通対策は、都市計画道路の整備や国道296号などの交通渋滞の解消と交通環境の改善を推進。

〔睦地区〕

同地域は、新川、神崎川、桑納川が流れ、その流域には水田や里山が広がり、水と緑に囲まれた自然豊かなエリアです。北部には学園都市、南部には吉橋工業団地、その隣接には古くから集落が形成され、市街地には見られない独特の風情を有しております。

人口は7,236人、3,211世帯で減少傾向にあり、老年人口の割合が高い地域でもあります。行政の課題と対応は、以下のような内容です。①新川をはじめとする水辺環境や水田、谷津・里山などの豊かな自然環境の維持保全を基本とした農業の振興、農地の保全・活用

②やちよ農業交流センター、八千代ふるさとステーションにおける農産物の販売促進及び生産者と消費者がふれあう体験型農園の普及。③水辺拠点の整備による新たな魅力、価値の創出。④道路の駅やちよの

基礎の維持管理の推進。

〔阿蘇地区〕

同地域は、新川、高野川とその流域に水田地帯が広がり、台地には里山も見られる自然豊かなエリアです。そして、千葉電ヶ崎線沿いに昔からの集落が形成されているほか、国道16号線沿いには、中高層集合住宅の米本団地、北部には東京成徳大学を中心とした八千代カルチャータウンが造成されました。

人口は、9,755人、5,133世帯で減少見込みであり、老年人口の割合が高いことに加え、年少人口と生産年齢人口の割合が低い地域です。

行政の課題と対応は、次のような内容です。①より良い教育環境を整備するため、施設一体型の義務教育学校の設置に向けた取組。②恵まれた自然環境の維持・保全を基本にした農業振興と農地の保全・活用。③良好な自然環境と住環境が調和した地域づくり。

④道の駅やちよの水辺拠点作りと阿宗橋周辺での一里塚整備等により、新たな魅力を創出する。

〔村上地区〕

同地域は、新川流域に水田や斜面緑地があり、台地には梨畑が広がっている一方、東葉高速線の村上駅、東葉勝田台駅と京成本線の勝田台駅に隣接しています。交通の利便を活かして、村上団地や上高野工業団地が造成されたほか、国道16号沿いには大規模店舗も進出して著しい発展を遂げてきました。

さらに、新川流域には、県立八千代広域公園、中央図書館、市民ギャラリー、総合グラウンドなどの文化・スポーツ活動の施設もあり、多くの人々で賑わいを見せております。

人口は、33,918人、15,591世帯で横ばいの見込み。生産年齢人口の割合が高く、活力のあるエリアです。また、団地内に外国人の居住者が多いのも同地域の特色。

行政の課題と対応は、次のような内容です。①商工業、農

水辺拠点作りと阿宗橋周辺での一里塚整備等により、新たな魅力を創出する。

地、住宅地が共存する現状から、住環境に配慮した産業の振興。②県立八千代広域公園内施設を活用した文化・スポーツの普及。

③村上団地内の多文化交流センターを活用した在外国人との交流促進。④老朽化した村上団地再生に向けた U R 都市機構との連携強化。

⑤自然や歴史的資源を守り、自然環境に恵まれた快適な生活空間と安心安全な地域づくりの推進など。

〔八千代台地区〕

同地域は、八千代台駅を中心に発展した市街地。特に、八千代台団地は、わが国初の住宅団地として知られ、住宅地の造成とともに百貨店やスーパーなども進出、市の中心的な商業エリアとして発展した。

しかし、開発してから 60 年が経過。まちの成熟とともに空き家、空室のほか、公共施設の老朽化が目立ち、住民意識にも変化が生じてきました。

人口は、33,955 人、世帯数は 1

6,594 世帯。その数は減少傾向にあるうえ、老年人口の割合が高くなっている状況からも、時代の転換期を迎えている様子が伺えます。

行政の課題と対応は、以下のような内容になります。

①駅周辺商店街の活性化と公共施設跡地の有効活用。

②都市機能の再構築を図るために、地域住民と事業者が一体となって検討を進める。

③廃校となった旧八千代台東第二小学校跡地を地域の賑わいの拠点として整備し、地域が主体的に活用できる施設とする。

④道路のバリアフリー化を促進し、誰もが移動、外出しやすい歩道空間を整備する。

⑤市民の森や子供の森など、貴重な緑の維持・保全を図り、快適な都市空間の創造に向けた地域づくりを推進するなど。

〔勝田台地区〕

地域の南部には、勝田川が流れ、流域に広がる水田と里山周辺に古くから形成された集落は、一幅の絵になる豊かな田

園風景です。

また、北部には京成本線の勝田台駅と東葉高速線の東葉勝田台駅を中心に市街地が広がっておりま

す。

千葉市と佐倉市に隣接した本地域は、昭和 43 年（1968

年）の勝田台駅開業とともに誕生した勝田台団地を中心に発展し、同駅南口周辺の「みずき通り」がメインの商業集積エリアです。

人口は、16,261 人、7,738

世帯。その数は横ばいの見込みですが、老年人口の割合が高くなっている点では、ここでも時代の転換期を迎えている状況です。

しかし、同地域は、京成本線と東葉高速線が接続した鉄道交通の要衝であること

質問 2 コンパクトカーの運行計画とその現状について

回答 コンパクト

カーの導入に関して、昨年度は、運行ルート案の試走や事業者へのヒアリング、運行経費の試算などを行いました。その結果を踏まえて、八千代市地域公共交通会

から、人の流れと賑わいのあるまちづくりとしては、十分なポテンシャルが望めます。

行政の課題と対応は、以下のような内容になります。

①地域の大部分は、計画的な基盤整備による良好な住環境が形成されているので、この環境が阻害されないよう維持することが必要。

②両駅周辺の都市機能を再構築するため、地域住民と事業者が一体となって検討を進める。

③勝田台駅前南口広場のバリアフリー化を促進する。

④南部に広がる田園風景が守られるように市街化を抑制し、住宅と自然環境が調和した地域づくりを推進するなど。

（注）人口、世帯数は、令和 2 年 3 月末時点

の在り方を見直すことにしました。

見直しの対象は、

①市内交通網の実情、

②地域公共交通の必要性、

③地域輸送資本の現況、

④市内全

体の方向性と地域の

特徴など。これらの

見直しによって、市

内の公共交通ネット

ワークに関するビジ

ジョンの明確化を急

ぎたいと考えており

ます。

急ぐ理由は、地域

公共交通の活性化及

び再生に関する法律

が、このほど改正の

運びとなり、地方公

共団体による地域公

共交通計画の作成が

義務化されたからで

す。従って、この法

律改正を機に、新

ビジョンに基づいた

「八千代市版・総合交

通計画」の策定に向

けた作業に着手した

ところです。

平成 10 年から始ま

り、市民に親しまれ

た「ぐるっと号」は、

年間約 6 千万円の経

費が掛かり、財政難

を理由に平成 24 年 8

月に廃止されました。

以来、市民の間で

は「ぐるっと号」の復

活やコンパクトカー

ないしコミュニティ

バス等の導入を求め

る声が寄せられてい

るため、市では、平

成 26 年 8 月から今日

まで、八千代台地区

を対象にコミュニ

ティバスの試行運転

（年経費約 9 百万円、

新年度から増額予定）

を行ったり、自治会

連合会 7 地区を対象

に、コンパクトカー

の運行に関する協議

を重ねるなど、ある

べき方策を求めて模

索して参りました。

そうした中で今度は、

同法律改正に伴う

「八千代市版」の策定

という新たな段階に

入ったという次第で

す。自治会の方々は

もとより、広く市民

のご意見を頂きなが

ら、利便性の高い基

本方針にしたいと考

えております。引き

続き皆さんのご協力

をお願いいたします。

（都市整備部・都市計

画課）

質問 3

子供たちの安全・安心対策の現状について

高齡化したスクールガードの対策も含めて

回答 市内スクール

ガード・リーダー連

絡協議会においては、

スクールガードの高

齢化で活動が困難と

か、人手が足りない、

学校との連絡が取り

にくい等の課題が、

話題に上ります。

しかし、八千代市

の場合は、他市に比

べて多くの方々から

スクールガードのご

協力を頂いており、

児童・生徒の安全な

登下校に多大な貢献

をして頂いておりま

す。しかも、晴雨に

かわらず多数のス

クールガードが、連

日、登下校時の見守

りをして頂いている

のが、実情です。

スクールガードと

子どもたちの間で、

毎日、元氣な挨拶が

交わされている状況

を

を見ますと、相互の

コミュニケーション

も取れている様子で

すから、八千代市に

おいては、子供たち

の登下校時における

見守り体制は、出来

上がっているものと

認識しております。

なお、市ではスクー

ルガードの方々に、

腕章や名札、横断旗

等の備品を配布して、

見守り活動を支援し

ております。

また、スクールガ

ードの募集は、各学校に

積極的な募集を依頼し

ておりますので、関係

者の一層のご協力をお

願いたします。

（教育委員会・保健体

育課）

要望 1

自治会と話し合う地区担当制を設けて欲しい

回答 従来型の縦割

り行政は、市民から

要望や苦情が出てく

るのを待つという受

け身の姿勢でしたが、

そのような行政の在

り方では、市民の意

見や要望に対して十

分に対応することは

できないものと認識

しております。

市民と行政側の対

話については、本市

の場合、制度化して

はおりませんが、慣

例化し定着した代表

を

を見ますと、相互の

コミュニケーション

も取れている様子で

すから、八千代市に

おいては、子供たち

の登下校時における

見守り体制は、出来

上がっているものと

認識しております。

なお、市ではスクー

ルガードの方々に、

腕章や名札、横断旗

等の備品を配布して、

見守り活動を支援し

ております。

また、スクールガ

ードの募集は、各学校に

積極的な募集を依頼し

ておりますので、関係

者の一層のご協力をお

願いたします。

（教育委員会・保健体

育課）

以上の現状を踏ま

えたうえで、ご要望

の地区担当制につい

て触れたいと思いま

す。職員が地域や現

場に積極的に出向き、

地域の住民と一緒に

なって、課題や地域

の活性化などについ

て話し合い、共に行

動することは、コミュ

ニティ施策を推進す

るうえで重要なこと

だと考えております。

県内では、規則等

で地区担当制を設け、

市民との対話、交流

を積極的に行い組ん

でいる市もあります。

その代表例が、習志野市です。同市では、職員は採用時から一部の職員を除き、地域担当職員となり、全庁を挙げて市民対策に取り組んでいるとのこと。全国に先駆けた取り組みで、昭和 43 年創設より今日に至るまで続けられている独自の施策です。

また、旭市でも、要綱で区連絡員を制度化しております。同市のケースは、自治会との連絡調整役に業務を特化させているのが特徴です。その他、各市ごとに様々な形で住民との対話に努めているようですが、本市においては、現在、八千代台地区のように既存の「協議会」が活動している地域があり、持続可能なコミュニティを育むことを目的に様々な活動を行っている「協議会」は、いわば地域おこしの推進役になっております。こうした課題を持って地域の振興に取り組む住民たちを後押しするための地区担当を試行的に配置したらどうかという考え方で、その在り方を検討しているところとあります。

（総務部・コミュニティ推進課）

**要望 2
市内道路植樹帯の
除草・清掃年 3 回
に増やして欲しい**

回答 現状は、年 2 回の除草作業等を行っております。実施時期は、その年によって雑草の繁茂状況が異なりますので、

視察研修会

自治会活動や防犯活動に役立つ施設や活動状況などを視察する自治会連合会と防犯組合連合会恒例の合同視察研修会は、コロナ禍のために今年度は、計画の段階から中止となつてしまいました。

状況を見ながら、ということになりすが、例年の平均値で申し上げれば、夏（6 月 7 月）、秋（10 月 11 月）の 2 回、業者に委託して実施しております。

要望では、もう 1 回（5 月 6 月ごろ）増やして欲しいということですが、限られた予算の範囲内では年 3 回実施するのは難しい状況です。ただし、雑草が繁茂して道路の視界が悪く

**自治連役員会、
変更して開催
スケジュールを**

コロナ禍によって各自治会活動が、軒並休会を迫られた中、自治会連合会の役員

からは、6 回予定を 4 回に変更して会議を開催、自治活動の先導役を務めました。

役員会は、計 21 人（7 地区各 3 人選出）で構成。コロナ感染防止のため、会場では全員がマスク姿で臨み、まず、手の消毒を済ませ、間隔を置いた座席に着く早々、体温、体調を記録して



なったり、歩行や車などの通行に支障が生じる事態が発生した場合、職員が直接現場に赴き、障害を除去する作業を行っております。

道路の植樹帯で、万一、通行に支障が生じる事態が起これば、随時対応いたします。そのような場合は、土木管理課に（都市整備部・土木管理課）

また、会議のたびに必要な会場内の整理と会議前後の机、座席等の消毒は、市コミュニティ推進課の担当職員にお世話になっております。この際、感謝の意を込めてお伝えしております。

「今年度の開催と主な議題」

6 月 22 日 市政懇談会の各地区開催日程調整、自治連だより

**自治連補助金
増額見送り**

栗根会長ら自治連幹部が、昨年 4 月、

服部市長、木下議長（当時）を訪れ、自治連への補助金について増額要求をしましたが、市側は、このほど、自治連側に対して、「増額は見送りとさせて頂きたい」と回答しました。厳しい財源事情のため、捻出できなかったとのこと。

自治連の予算は、会費 100 万円と補助金 30 万円の計 130 万円（広告収入と繰越金を除く）が、基本収入です。このうち、100 万円は、年 2 回発行の「自治連だより」に充当、残り 30 万円で自治連の

発行の件など。8 月 11 日 防犯連との合同視察実施の有无に関する件、市内に増加する空き家対策など。

そこで、本年 9 月号から、カラー化を目指したのですが、補助増額見送りによって、カラー化の方も見送らざるを得ません。しかし、他市の補助額に比べると、本市の場合、補助額は最低レベルになっておりますので、今後とも引き続き増額要求をしたいと考えております。

近隣七市自治連会議

今年 2 月に開催が予定されていた近隣 7 市（市川、浦安、鎌ヶ谷、習志野、船橋、松戸、八千代）による住民自治組織代表者会議は、コロナ禍によって中止となり、その代わりに「情報交換調査票」によって、議題・情報交換を行いました。

即ち「情報交換調査票」で議題・情報交換の内容や質問事項を持ち寄り、各市がメールで回答するという交換方式を採用したわけです。幹事の役の市川市が、結果をまとめ、後ほど関係市の自治連に連絡することになっております。

編集後記

自治会連合会の最大イベントである各地区での市政懇談会が、今年度はコロナ禍の影響で中止となり、本号の自治連だより 3 月号の編集にも大番狂わせが生じました。例年、紙面作りの中心となる 7 地区での市政懇談の原稿が、一行も集まらないからです。

そこで、自治連役員では、恒例の市政懇に代えて、「質問、要望」と「市側の回答」を文書にして行うという新たな意見交換会を行い、その結果を 3 月号の紙面に反映させることにしました。

役員からの「質問、要望」は、全部で 5 項目。いずれも、7 地域全体に関係した内容ですが、中でも新年度からスタートする第 5 次総合計画が中心テーマです。資料が膨大のため、本 3 月号の編集に当たっては、特に、自治会活動と関係の深い「地域別計画」に絞って、7 地区ごとの特徴と政策課題を掲載しました。今後の自治会活動の参考にして頂ければと思います。自治連としても、これらの政策課題については、行政と話し合いながら解決に向けて努力して参ります。

また、現在 56 % の自治連の組織率を高めるため、さらに努力して参ります。

末筆になりましたが、今年度も小久保製氷冷蔵（株）様をはじめ多くの企業の皆様には、本紙自治連だよりにご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。（栗根）